

平成29年度 埼玉県学力・学習状況調査<行田市の分析結果>について

(1) 調査の目的 ・本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進するため。

(2) 調査対象 小学校第4～6学年、中学校第1～3学年の全児童生徒

(3) 調査日 平成29年4月13日

(4) 行田市及び埼玉県の平均正答率・平均正答数

【小学校】

調査科目・調査問題数	行田市	埼玉県
小4国語・26問	67.1%・17.4問/26問	67.3%・17.5問/26問
小4算数・30問	61.2%・18.4問/30問	61.8%・18.5問/30問
小5国語・30問	67.5%・20.3問/30問	67.6%・20.3問/30問
小5算数・32問	60.6%・19.4問/32問	61.6%・19.7問/32問
小6国語・30問	67.1%・20.1問/30問	68.2%・20.5問/30問
小6算数・32問	61.4%・19.6問/32問	62.3%・19.9問/32問

【中学校】

調査科目・調査問題数	行田市	埼玉県
中1国語・30問	65.3%・19.6問/30問	64.4%・19.3問/30問
中1数学・32問	67.3%・21.5問/32問	65.9%・21.1問/32問
中2国語・30問	57.7%・17.3問/30問	59.1%・17.7問/30問
中2数学・32問	53.9%・17.2問/32問	54.8%・17.5問/32問
中2英語・38問	58.5%・22.2問/38問	59.7%・22.7問/38問
中3国語・30問	54.8%・16.4問/30問	57.2%・17.2問/30問
中3数学・32問	59.0%・18.9問/32問	61.7%・19.7問/32問
中3英語・40問	51.9%・20.8問/40問	55.3%・22.1問/40問

(5) 調査結果の概要

【小学校 国語について】

◇県平均と比較して正答率が上回った問題の概要

◆課題のある問題の概要

≪第4学年≫

- ◇同音異義語の中から文脈に合うものを選択する。
- ◇指示語の示す内容を文中から書きぬく。
- ◇漢字の「へん」を書き、その名前として適切なものを選択する。
- ◆登場人物の心情をまとめた文にあてはまる言葉を書きぬく。
- ◆登場人物の発言が向けられた相手を書きぬく。
- ◆場面の様子から、登場人物の心情として適切なものを選択する。
- ◆国語辞典に出てくる順に言葉を並び替える。

《第5学年》

- ◇漢字を読む（漢字の訓）。
- ◇漢字の部首名を書き、どんな意味に関係しているかを選択する。
- ◇同音異義語の中から文脈に合うものを選択する。
- ◆書き直したのを見てどんな効果があったかを選択する。
- ◆登場人物の様子を説明する行動を選択する。
- ◆「も」で並列された内容を読み取る。
- ◆情景から登場人物の心情として適切なものを選択する。

《第6学年》

- ◇漢字を書く（音+音の熟語）。
- ◇同音異義語の中から文脈に合うものを選択する。
- ◇文の主語を書きぬく。
- ◆文中にあてはまる適切なことわざの一部を選択する。
- ◆物語中の表現の説明として適切なものを選択する。
- ◆登場人物の心情の説明として適切なものを選択する。
- ◆物語中の表現による効果として適切なものを選択する。

評価の観点別平均正答率から考察する学習指導改善のための方策

- ★ 評価の観点別平均正答率では、全学年ともに「言語についての知識・理解・技能」は県平均を上回り、「読む能力」は、県平均を下回りました。5年生の「話す・聞く能力」は、県平均よりも上回り、「書く能力」に課題が見られました。6年生の「話す・聞く能力」に課題が見られました。
- ★ 読む能力を高めるために、日々の読書活動を充実させるとともに、学習の単元の始めに、読んでみたくなるような読みの課題を設定するなど、これまで以上に単元を貫く言語活動の充実を図っていきます。
- ★ 昨年度の課題であった、「主語と述語」関係の理解に係る設問では、5・6年生において県平均を上回りました。
- ★ 全学年に共通して言えるのが、物語の「登場人物の心情を読むこと」が不十分であることです。登場人物に寄り添いながら物語を読み浸る読書活動について、授業のみならず、家庭にも協力を得ながら充実させていきます。

【小学校 算数について】

◇県平均と比較して正答率が上回った問題の概要

◆課題のある問題の概要

《第4学年》

- ◇身の回りにあるものの重さの単位を書く。
- ◇表の中の数が何を表しているかを書く。
- ◇整数と小数のひき算の計算をする。
- ◆コンパスを使って模様をかいたとき、どこにコンパスの針をさしたかを選ぶ。
- ◆周りの長さや横の長さから、長方形のたての長さを求める。
- ◆球の性質を利用して、球が入った箱の横の長さを求める。
- ◆長さの単位について適切なものを選ぶ。

《第5学年》

- ◇四捨五入して概数で表す。
- ◇分度器を用いて角度を求める。
- ◇1組の三角定規を組み合わせたときの角の大きさを求める。
- ◆長方形のたての長さや横の長さの関係性を式で表す。
- ◆文章を読み、その関係をもとに、兄の年齢が何倍かを求める。
- ◆数字と小数点のカードを使い、2番目に小さい数をつくる。
- ◆わり算の計算をするときの工夫の仕方を書く。

《第6学年》

- ◇分数と整数のかけ算の計算をする。
- ◇最大公約数を求める。
- ◇比べる量の割合が一番大きいものを選ぶ。
- ◆高さが等しいときの三角形の面積を求める。
- ◆帯グラフを読み取り、説明として適切なものを選ぶ。
- ◆円周の長さが直径の長さの何倍かを求める。
- ◆文章を読み、平均をもとに必要な得点を求める。

評価の観点別平均正答率から考察する学習指導改善のための方策

- ★ 領域等別平均正答率では、4・5年生の「量と測定」、4・6年生の「数量関係」、6年生の「数と計算」が県平均よりも上回りました。また、全学年とも、「図形」が県平均よりも下回りました。評価の観点別平均正答率では、6年生は、「数学的な考え方」に課題が見られました。
- ★ 「数学的な考え方」を向上させるために、問題を解決する過程において、判断したり、推論したりする活動を多く取り入れ、見通しをもち筋道を立てて考え表現する力を高めていく指導を工夫していきます。
- ★ 図形の領域については、作業的・体験的活動などの算数的活動をとおして、実感を伴った理解をさせていきます。

【中学校 国語について】

- ◇県平均と比較して正答率が上回った問題の概要
- ◆課題のある問題の概要

《第1学年》

- ◇同訓異字の中から文脈に合うものを選択する。
- ◇一文の中で修飾語に対応する被修飾語を選択する。
- ◇漢字を書く（漢字の訓）。
- ◆文中にあてはまる適切な四字熟語を選択する。
- ◆グラフをみて、空欄にあてはまる文を選択する。
- ◆文中にあてはまる適切なことわざの一部を選択する。
- ◆文中にあてはまる適切なことわざを選択する。

《第2学年》

- ◇漢字を書く。（音＋音の熟語）
- ◇音訓の組み合わせが同じ二字熟語を選択する。
- ◇一文を単語で区切った場合の正しい区切り方を選択する。
- ◆スピーチ原稿中の表現技法と効果について説明したものとして適切なものを選択する。
- ◆文中にあてはまる適切な四字熟語を選択する。
- ◆本文に書かれた事象の理由として適切なものを選択する。
- ◆歴史的仮名遣いを現在仮名遣いに直して書く。

《第3学年》

- ◇漢詩の訓読文を書き下し文にする。
- ◇活用の種類が同じ動詞を選択する。
- ◇文脈に合う言葉を選択する。
- ◆他と品詞が違うものを選択する。
- ◆漢字を書く。（音＋音の熟語）
- ◆漢字を読む。（音＋音の熟語）
- ◆情景を説明したものとして適切なものを選択する。

評価の観点別平均正答率から考察する学習指導改善のための方策

- ★ 評価の観点別平均正答率から、1年生の「言語についての知識・理解・技能」が県平均を上回りました。1・2年生の「話す・聞く能力」に課題が見られました。3年生の「言語についての知識・理解・技能」に課題が見られました。

- ★ 「話す・聞く能力」を高めるために、単元全体に言語活動を位置付け、必要な資料を生かしながら、話し合う活動を充実することが大切です。また、主体的・対話的で深い学びの視点から言語活動を工夫し、話し方や聞き方の効果についても十分に理解させていきます。
- ★ 昨年度の課題であった、3年生の「書く能力」と「読む能力」については、県平均との差を縮めることができました。
- ★ ことわざ・慣用句を文章の中に取り入れた言語活動の充実を図ります。また、古文に親しみをもつ生徒を育てていきます。

【中学校 数学について】

◇県平均と比較して正答率が上回った問題の概要

◆課題のある問題の概要

《第1学年》

- ◇線対称であるものを選んで書く。
- ◇小数の逆数として適切なものを選ぶ。
- ◇度数分布表からある範囲の割合を求める。
- ◆直方体の容器に入れた水の深さを求める。
- ◆円の面積から半径を求める。
- ◆分数の計算を用いて、文章題（ページ数）を解く。
- ◆分数や小数の計算を用いて、文章題（針金の重さ）を解く。

《第2学年》

- ◇5回の得点の範囲を求める。
- ◇整数部分が1けたの小数と10の累乗の積で表したとき、適切なものを選ぶ。
- ◇比例の式から適切なグラフを選ぶ。
- ◆ヒストグラムを見て、正しい最頻値を選ぶ。
- ◆身長が低い方であるという考え方が適切ではない理由について、ヒストグラムをもとに説明する。
- ◆おうぎ型の弧の長さを求める。
- ◆長方形が回転してできる円柱の表面積として正しいものを選ぶ。

《第3学年》

- ◇正多角形の1つの外角の大きさを選ぶ。
- ◇平行線の性質と三角形を利用して、辺の長さを求める。
- ◇カードをひくとき、和が奇数になる確率を求める。
- ◆数当てゲームをして出た答えについて、最初に決めた文字を用いて表したものを選ぶ。
- ◆文字式の計算をして、適切なものを選ぶ。
- ◆文章題（入園料）を読み、連立方程式をつくる。
- ◆連立方程式の解を代入して求めた a, b の値として適切なものを選ぶ。

評価の観点別平均正答率から考察する学習指導改善のための方策

- ★ 全体の平均正答率では、1年生は県平均より上回りました。3年生に課題が見られました。
- ★ 領域等別平均正答率では、1年生は、図形以外の項目で県平均を上回りました。2年生は、県平均と同等でした。3年生は、「数と式」、「関数」、「資料の活用」に課題が見られました。評価の観点別平均正答率では、1年生は、すべての項目で県平均よりも上回りました。3年生は、「数学的な考え方」、「数量や図形についての技能」に課題が見られました。
- ★ 「数学的な考え方」を向上させるために、問題解決の過程において、判断したり、推論したりする活動を多く取り入れ、論理的に考え表現する力を高めていく指導を工夫していきます。
- ★ 「数量や図形についての技能」を高めるために、具体的な場面で図や言葉、式で説明する活動をとおして、論理的な思考を促し、知識と技能を確実に身に付けさせる指導を工夫していきます。

【中学校 英語について】

◇県平均と比較して正答率が上回った問題の概要

◆課題のある問題の概要

《第2学年》

◇英文が完成するように、() に当てはまる正しい英語 (b e 動詞) を選ぶ。

◇英文が完成するように、() に当てはまる正しい英語 (前置詞) を選ぶ。

◇三単現を用いた英文の正しい語順を選ぶ。

◆動作を聞き取り、内容を表す正しい日本語を選ぶ。

◆英文が完成するように、() に当てはまる正しい英語 (動詞の時制) を選ぶ。

◆英語の文章を読んで、下線部の質問に対する答えを選ぶ。

◆英文が完成するように、() に当てはまる正しい英語 (代名詞) を選ぶ。

《第3学年》

◇英語の文章を読んで、過去にしたことをたずねる英語の質問に対する答えを選ぶ。

◇理由をたずねる英文の正しい語順を選ぶ。

◇日本について、一番好きなことをたずねる質問を、1つの英文で書く。

◆会話が行われている場所を表す正しい絵を選ぶ。

◆場所についてたずねる質問を選ぶ。

◆英文が完成するように、() に当てはまる正しい英語 (前置詞) を選ぶ。

◆場所と人物の行動を聞き、正しい絵を選ぶ。

評価の観点別平均正答率から考察する学習指導改善のための方策

- ★ 全体の平均正答率では、3年生に課題が見られました。
- ★ 領域等別平均正答率では、2・3年生とも「聞くこと」に課題が見られました。また、3年生の「読むこと」に課題が見られました。評価の観点別平均正答率では、2年生は、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「言語や文化についての知識・理解」が県平均より上回りました。3年生は、「外国語表現の能力」が県平均よりも上回り、「外国語理解の能力」、「言語や文化についての知識・理解」に課題が見られました。
- ★ 聞くことの力を高めるために、英語を聞いてその意味を表面的に理解するだけでなく、話し手の意向などを理解できるようにしていきます。特に、つながりのある、双方向の対話を意識した活動を一層充実させる工夫をしていきます。

【児童・生徒の質問紙調査の結果から】

〈小・中共通〉

- ・勉強する理由：勉強することが楽しい、好きだから。
- ・勉強する理由：先生や家の人にほめられたいから。
- ・勉強するときは、参考書や事典などがすぐ使えるように準備しておきますか。
- ・勉強するときは、最後に友達と答え合わせをするようにしていますか。
- ・勉強で大切なところは、繰り返して書くなどして覚える。
- ・勉強する前に、勉強に必要な本などを用意してから勉強するようになっていますか。
- ・学校の授業の予習や復習をしていますか。
- ・地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか。

〈小学校〉

- ・勉強するときは、最初に計画を立ててから始めますか。

- ・先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができているか。
- ・勉強のできる友達と同じやり方で勉強しますか。
(中学校)
- ・勉強で分からないところがあったら、勉強のやりかたをいろいろ変えてみますか。
- ・問題が退屈でつまらないときでも、それが終わるまでなんとかやり続けられるよう努力しますか。
- ・勉強のやり方が自分に合っているかどうか考えながら勉強しますか。
- ・埼玉県や今住んでいる市町村の歴史や自然に関心を持っていますか。

- ★ 埼玉県や行田市の歴史・自然に関心を持ち、地域の大人と進んで関わっている児童・生徒が多い傾向が見られました。

【やや課題があると考える項目】

- ・授業で課題を解決するとき、みんなでいろいろな考えを発表していましたか。
- ・相手の顔を見て、はっきり挨拶をすることができますか。
- ・自分にはよいところがあると思いますか。
- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをすることについて、家の人と約束を決めていますか。

【県平均と比較して、達成率の高い項目】

- ★ 勉強する理由として、先生や家の人にほめられたいと答えた割合が、小・中学校ともに県平均を上回りました。また、勉強を始める前に計画を立てたり、学習の準備を整えたりしている児童・生徒が多くいることが分かりました。さらに、授業の予習や復習をしている児童・生徒が多くいることも分かりました。
- ★ 小学校では、友達の学び方を生かして学習を進める児童の割合が、県平均よりも上回りました。また、中学校では、勉強のやり方が自分に合っているかどうかを考えながら勉強を進める傾向があることが分かりました。

- ★ 授業で課題を解決するとき、みんなでいろいろな考えを発表することが県平均よりやや低い結果となりました。また、あいさつや自分にはよいところがあると思うかという項目に課題が見られました。
- ★ テレビゲームや携帯電話、スマートフォン等の使い方について、家庭で約束を決めている子供の割合がやや低いことが分かりました。

【今後の方策について】

- ・教職員向けの「うきしろスタンダード」の作成と活用をとおして、市内のすべての教員が、子供たちに対して、努力を賞賛する言葉や互いに認め合う言葉を積極的に使い、子供たちの学習に対する取り組み方を向上させるように進めてまいります。また、主体的・対話的で深い学びを目指した、問題解決学習のあり方や家庭学習への取組について研究を進め、子どもたちが学校でも家庭でも、学んでよかった、さらに学んでみたいという意欲を醸成させたいと考えています。
- ・地域の歴史や自然に関心を持ち、地域の大人と進んで関わっている児童が多い傾向が見られました。現在、市全体で推進している「足袋の教育」や「行田ふるさと学」が深まりつつあるということが伺われます。今後も、学校生活や、地域の方々との関わりをとおして、子供たちの地域への感謝の心を醸成させたいと考えています。
- ・課題と考えられる、ゲーム機や携帯電話の使い方の決まり等については、基本的生活習慣の見直しも含め、保護者への協力も呼びかけてまいります。